



【写真左から】萩谷流空さん、藤原高彦さん(指導員)、菊池凱仁さん、永山元大さん、藤原さん、山田村長、鯨岡さん



稽古と実践を通して技に磨きを！ 「中学校空手道選手権大会」「少年少女空手道選手権大会」

7月8日、「茨城県中学校空手道選手権大会」の男子団体組手の部で準優勝し、全国大会への出場を決めた皆さんと、同大会の男子個人組手の部で優勝し、同じく全国大会への出場を決めた、藤原聖さん(須和間)、「茨城県少年少女空手道選手権大会」で第3位の成績を収め、関東大会への出場を決めた、鯨岡桜麗さん(大山台)が村長へ報告に訪れました。「上位大会に向けて稽古を積み、いい結果を残したい」と話してくれた皆さん。村長からは、「自分を信じて頑張ってもらいたい」とエールが送られました。



長年にわたり食を通じた国民の健康づくりに貢献 政安さんが春の叙勲「旭日双光章」を受章

7月1日、春の叙勲で「旭日双光章」を受章した政安静子さん(東海)が、村長へ報告に訪れました。政安さんは、長年にわたり公益社団法人茨城県栄養士会会長や公益社団法人日本栄養士会理事を歴任し、県民の健康づくりの推進や全国の福祉栄養士の資質向上に尽力したことが認められ、今回の受章に至りました。受章を受け「これからも、食事指導を实践する栄養士の育成など、国民のために「食事」を通じた健康づくりを推進していきます」と話しました。

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



未来ある子どもたちの
成長を温かく見守り続けます

私がこの仕事に興味を持ったのは、小学生の頃から、小さい子どもと遊ぶのが好きだったことがきっかけでした。子どもたちと過ごす毎日は、さまざまな発見や気付き、喜びに満ちています。園庭に落ちている石や木の棒を、宝石や恐竜の化石に見立て、大切にしている姿を見て、その柔軟な発想力に驚かされます。子どもたちと同じ目線で物事を見ることで、思いを共有する楽しさを感じる事ができます。また、今までできなかったことができるようになったり、苦手なものが食べられるようになったりなど、子どもたちが葛藤し、努力が実を結んだときの喜びは大きく、とてもうれしく思います。幼児期にさまざまな

まな経験をすることで物事を乗り越える力が育ち、多くの困難に立ち向かえるようになります。私は子どもたち一人ひとりの育ちに合わせた「ねらい」を持って、さまざまな経験ができるような保育を心掛けています。先日、七夕の短冊に何を書きたいか、子どもたちに聞きました。大きくなったらなりたいものがたくさんある子どもたち。彼らの夢に触れるたびに、幸せな気持ちになると同時に、未来ある子どもたちを育てることへの責任も感じます。そんな時、巣立った子どもたちと再会したり、成長を知ったりするととてもうれし気持ちになります。私も、自分が幼稚園児だった頃の先生と同僚として仕事をする事になった時に「一緒に仕事をする事ができてうれしい」と言われて、心が温かくなりました。

私は今、たくさんさんの笑顔に触れ、元気に成長していく子どもたちと共に、新たな発見や学びの多い毎日を過ごしています。そして保育士という仕事は、保育所にいる間の成長だけでなく、その後の子どもたちの成長を温かく見守り続けられるすてきな仕事だと感じています。

舟石川保育所
藤沼涼子 副主任保育士